

# まちの ニュース

心の感動を受け止めて豊かに表現をしよう



受賞者の皆さんと関係者で記念撮影

名誉市民の故江間章子さんの詩の心を継承し、青少年の健全育成を図るため、第11回少年少女の詩「江間章子賞」授与式は11月19日、西根中学校で行われました。

県内37校の小中学生から771編の作品が寄せられ、最優秀賞に当たる江間章子賞など12人に賞状と記念品を贈呈しました。詩題と受賞者は次のとおりです。（敬称略）

## ▽江間章子賞



よさこいソーランで祝福する生徒たち

「うさぎのおかあさん」関柚月（田山小1年）、「空」高橋美里（寄木小4年）、「光を逃がした理由」千葉洸也（奥州市立大田代小6年）、「夏の家」で伊藤萌（西根中3年）

▽八幡平市長賞  
「あめ」伊藤耕多（大更小1年）、「たんぽぽ」関瑠那（松野小4年）、「習字」三浦悠斗（東大更小6年）、「出発」菅野史夏（松尾中3年）

▽八幡平市教育長賞  
「おかあさんのおなか」斎藤美緒（大田代小2年）、「ぼたる」石川楓（大田代小4年）、「私のばあちゃん」佐藤朱莉（田山小5年）、「ほたる」川浪優希（岩手大学教育学部付属中1年）

## プロ選手からフットサルの基礎技術を学ぶ

市民フットサル教室は11月10、17の両日、アリーナまつおで小中学生やフットサル愛好者など約50人が参加して開かれました。

フットサルは、室内で行われるサッカーに似た競技で、ボールもコートも小さいことから、年齢や性別を問わず生涯スポーツとして人気を集めています。

日本フットサルリーグの最

高峰、Fリーグに北海道、東北地域から唯一参戦するステラミーゴいわて花巻の選手3人が講師となり、パスやシュートなど基本プレーを中心に指導しました。

教室の後半は、実践形式のミニゲームです。参加者は、プロ選手の華麗なテクニクを間近で体験しながら、パスをつないでゴールを目指しました。



↑プロ選手を相手にしてミニゲームに挑む児童たち

←ボールの蹴り方などの技術を学ぼうと、真剣な表情で練習に取り組めます

## 世代を超えた交流から地域の大切さを学ぶ

田山小学校(菊池明校長、児童50人)と地域の高齢者との交流会は11月18日、館市公民館で行われました。

参加したのは3年生の児童5人。郷土料理の「がんづき」とジャガイモの団子作り、絵とりなどのゲームで交流を深めました。参加した角館智仁くんは「ジャガイモの皮をむくのがやりにくかったけど、楽しかった。おいしくできて良かった」と笑顔を輝かせていました。



協力してジャガイモをすりつぶす参加者

## 高齢者の就業を通じて活力ある地域づくり

社団法人八幡平市シルバー人材センター設立総会は10月23日、市総合福祉センターで行われました。

開会式で田村正彦市長は、「高齢者の力は、社会のために不可欠です。さまざまな分野での活躍を期待します」とあいさつしました。議事では、定款など12の議案を賛成多数で可決。高齢者の就業を通じて健康と生きがいを充実させながら、活力ある地域づくりを目指します。



市民155人が出席し、12議案を可決しました

福祉について広く理解を深めてもらおうと、八幡平市福祉まつりは11月9日、西根地区市民センターで開かれました。

会場では、ゲームを通じて楽しく交流を深めるコーナーのほか、福祉団体の活動や福祉標語の優秀作品展示、福祉作業所の作品販売やバザーなどが行われました。



バザーなど会場は大勢の人でにぎわいました

## 広く市民に福祉の心をPRするまつり開催

田山中学校(松村誠一校長、生徒33人)の3年生15人は11月7日、市安代保健センターで乳児とのふれあい体験に参加しました。

この事業は、乳児とのふれあいを通じて命の大切さや思いやりの気持ちを育てようといわれているものです。生徒たちは、乳児健診に訪れた母子と交流。母親に教わりながら、抱っこや着替えの補助をしながら、満面の笑顔を浮かべていました。



赤ちゃんと交流する田山中の生徒

## 赤ちゃんとのふれあいから学ぶ命の大切さ



## 男女が共同で生きる社会について考えよう

第2回八幡平市男女共同参画フォーラムは11月16日、松尾ふれあい文化伝承館で開催されました。

岩手県立大学の吉野英岐教授が「未来志向の男女共同参画」と題して講演しました。続いて、日常の中にある男女共同参画についての問題を考える寸劇を披露。田村正彦市長などが「わかちあう、仕事も家庭も喜びも」と題してパネルディスカッションを行い、議論を深めました。



いわてヌエツクの会2003の皆さんによる寸劇

## 来年の福を願い一足早く縁起物のえと作り

老春大学「干支くろみ絵作り」は11月17日、平館公民館で行われました。

地域住民など、約30人が講座に参加。和紙の型紙を貼り合わせて独特の立体感を楽しむくろみ絵で来年のえと・丑作りに挑戦しました。

出来上がったくろみ絵の牛は、生き生きとして今にも飛び出しそう。参加者は、満足いく出来栄えに笑みを浮かべ、来年が良い年になるよう願いを込めていました。



講師の指導を受けながらくろみ絵作りに挑戦します

秋の全国火災予防運動の初日となる11月9日、西根地区体育館で市火災防御訓練を行いました。

消防団員など200人が参加。県内陸北部で震度6弱の地震が発生し、西根地区体育館から出火したとの想定で訓練開始です。倒壊した建物から被災者を救助する訓練や、各地区消防団と消防署隊が連携して、水路などからポンプ車で中継して放水する消火訓練を行いました。



大規模災害に備え、訓練を行いました

## 万が一の事態に備えて火災防御訓練を実施

松野保育所(立柳陽子所長、園児75人)は11月14日、お買い物ごっこなどを通じて地域との交流を深めました。

祖父母らが、園児の家庭から提供された米やリンゴ、カボチャなど地元産の食材を用いて、たこ焼き、たい焼、ポン菓子を作ります。園児たちは、特製のお買い物券で好きなお菓子を購入。父母や祖父母とともに味わいながら、地域の食材への理解を深めていました。



父母などと一緒に買い物を楽しむ園児たち

## お買い物ごっこで地元の味に理解を深める

## 助け合いの心を込めてチャリティ演芸大会

安代地区歳末たすけあいチャリティ芸能大会は11月16日、安代地区体育館と田山中学校体育館の2会場でそれぞれ開かれました。

地域の保育所や幼稚園に通う園児たちが、この日のために練習してきたかわいらしい

お遊戯を発表。小学校の児童たちは、華やかなよさこいソーランを踊り、会場を盛り上げました。

このほか、婦人会や老人クラブ、地域の有志による歌や踊りが披露され、会場を訪れた人たちを楽しませました。



↑ゴーオンジャーになりきった新町幼稚園の園児たちによる踊り

→苗代沢地域の有志が見せた、やぎ節と地域に伝わる先祓いのみごとに調和させたオリジナルの踊り「やぎ節マンボ」



出席者全員で市民憲章を唱和しました

会、市観光協会が活動を紹介。大石平念仏剣舞保存会が郷土芸能、西根むらさきコーラスが美しい歌声をそれぞれ披露しました。

功労表彰、善行表彰、感謝状は次のとおりです。

(敬称略)

◇功労表彰▽農業委員

中軽米幸雄(松尾寄木)▽

統計調査員 田村光幸(平

館)、佐藤千一(古屋敷▽

消防団員 田村栄次郎(大

更)、工藤祐孝(大更)、藤原

哲(田頭)、遠藤泰民(平館)、

高橋久由(平館)、畠山義男

(細野)▽交通指導員 荒沢

正(帷子)、工藤輝久(大面平)、

目時逸男(赤坂田)

◇善行表彰▽人命救助 八幡

優花(姥子石)、工藤颯悠(姥

子石)、工藤稀凜(姥子石)▽

青少年指導育成 高橋一三

(平笠)、渡辺力(大更)、中川

原繁(荒屋新町)▽献血 小林

清功(上の山)、松村由貴雄

(大更)

◇感謝状▽社会福祉への貢献

遠藤三次郎(西根寺田)▽公

共生活への貢献 田村武智

(大更)、田村一良(松尾)、高

橋安則(松尾寄木)

## 市民憲章を唱和し地域づくりの決意新たに

八幡平市市民憲章推進大会は11月3日、市総合運動公園体育館で開催されました。市民憲章を約300人の参加者全員で唱和し、「農と輝の大地」づくりに向け、決意を新たにしました。

まちづくりに尽力した功労者12人、人命救助など善行者8人を市特産の安比塗の賞状で表彰。除雪への協力など地域社会に貢献をした4人に感謝状を贈りました。

続いて、まちづくり講演会では、協働のまちづくりを進める活気あふれる大更を創る